



平成 21 年 2 月 4 日

各 位

上場会社名 **ニチコン株式会社**  
コード番号 6996 東証・大証・名証第一部  
本社所在地 京都市中京区烏丸通御池上る  
代表者名 代表取締役社長 荒木 幸彦  
問合せ先 執行役員 IR 室長 河辺 喜代一  
電 話 075-231-8461

### 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、平成 20 年 11 月 5 日に公表しました業績予想を下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 平成 21 年 3 月期 通期 連結業績予想数値の修正（平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日）

|                             | 売上高     | 営業利益   | 経常利益   | 当期純利益   | 1 株当たり<br>当期純利益 |
|-----------------------------|---------|--------|--------|---------|-----------------|
|                             | 百万円     | 百万円    | 百万円    | 百万円     | 円 銭             |
| 前回発表予想（A）                   | 106,000 | △ 400  | 500    | △ 900   | △ 12 60         |
| 今回修正予想（B）                   | 93,000  | △8,400 | △8,500 | △12,300 | △172 16         |
| 増減額（B－A）                    | △13,000 | △8,000 | △9,000 | △11,400 | －               |
| 増減率（％）                      | △ 12.3  | －      | －      | －       | －               |
| （ご参考）前期実績<br>（平成 20 年 3 月期） | 119,567 | 4,610  | 3,732  | 1,277   | 17 31           |

#### 2. 業績予想修正の理由

通期連結業績予想につきましては、米国サブプライムローン問題に端を発した金融危機が、实体经济にも大きな影響を及ぼし、景気の後退が顕著になりました。市場での在庫調整を含め電子部品の需要動向につきましても、従来の予想より大きく落ち込んでおります。また、株価の大幅な下落や急激な円高の進行、設備投資の抑制等により厳しい経営環境となっております。

当社グループにおいては、このような状況に対応すべく、次項に掲げる事業構造改革ならびに緊急業績改善策を実施しておりますが、世界的な規模での需要減少が見込まれること、および保有有価証券の減損等の計上額を反映し、前回発表の業績予想を修正いたします。

なお、当社は、四半期会計期間末における保有有価証券の減損処理については、四半期洗替法を採用しておりますので、平成 21 年 3 月期においては、その期末日の時価額により特別損失の計上額が変動する場合、または損失を計上しない場合があります。

#### 3. 事業構造改革ならびに緊急業績改善策の主要施策

当社グループは、景気の低迷が当面継続し売上拡大が見込めない環境下においても、収益性の確保と向上にむけた筋肉質な企業体質を構築すべく、以下の諸施策を行っております。

- ① 富士通メディアデバイス株式会社のキャパシタ事業買収による導電性高分子アルミ電解コンデンサ事業の強化
- ② 新製品の開発加速と EV/HEV 用モジュールの量産化
- ③ 拠点の統廃合
  - ・ 国内生産子会社であるニチコン朝日株式会社を閉鎖し、ニチコン岩手株式会社に統合
  - ・ 国内生産子会社であるニチコン滋賀株式会社を閉鎖し、ニチコンタンタル株式会社に統合

- ・ 国内生産拠点である生坂ニチコン株式会社を閉鎖し、松本電子工業株式会社に統合
  - ④ 海外生産体制の強化  
海外生産子会社であるニチコン（マレーシア）センディリアン バハッドおよびニチコン エレクトロニクス（無錫）カンパニー リミテッドの生産を拡充いたします。
  - ⑤ 役員賞与ゼロおよび役員報酬10%カット
  - ⑥ 人員削減の実施およびワークシェアリングの導入  
低稼働部門の直接人員および間接人員の最適配置を実施することにより、2009年3月末までに国内外合わせて1,700名を削減するとともに、緊急対応型ワークシェアリングも導入し、人件費の削減を図ります。
  - ⑦ 資材コストダウンならびにあらゆる経費の削減  
より効率的な資材購買を進めるとともに、物流費などの削減と設備投資の絞り込みによる減価償却費の低減を図ります。
  - ⑧ リードタイム短縮活動（納期1/2）による在庫の圧縮  
リードタイムの半減により生産性の向上とともに在庫の圧縮に取り組みます。
  - ⑨ 品質向上活動の促進  
不良ゼロへの取組みを進め、品質コストの削減を図ります。
- これらの諸施策に伴う平成22年3月期業績見通しにつきましては、平成21年3月期の決算発表時にあわせてお知らせいたします。

（注意事項）

本資料に掲載されている連結業績予想数値等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性がありますことをご承知おき下さい。

以 上